

会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和 2 年度相模原市障害者差別解消支援地域協議会 (書面開催)		
事務局 (担当課)	地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 5 5 (直通)		
開催日時	令和 3 年 3 月 1 5 日 (月) ~ 令和 3 年 3 月 1 9 日 (金)		
出席者	委 員 3 6 人 (別紙のとおり)		
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可	<input checked="" type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可
傍聴者数			0 人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由	書面会議のため		
会議次第	1 議題 (1) 相模原市障害者差別解消支援地域協議会について (2) 障害を理由とする差別の相談事例等について (3) 障害者差別解消法の見直しの動向について (報告) (4) その他		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

(審議を書面等で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐため、出席者が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により委員から意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

1 議題

(1) 相模原市障害者差別解消支援地域協議会について

○今年はコロナのためやむを得ないとはいえ、「協議」することができなかったのは残念だった。

(2) 障害を理由とする差別の相談事例等について

○障害者差別解消の取組として今回の事例紹介は有効だと思います。合理的配慮が求められている事業者等にも広く周知していただきたいと思います。

○ジェンダーや身体に関する事例については、障害の有無に関わらず、あってはならないことであり、根絶に向けた取組を行うべき。

○合理的配慮の不提供の事例について、グループホームでの不適切な支援状況が散見されています。市内のグループホーム設置状況を見ると近隣他市の人口比で見て、グループホームの量的には多い状況です。しかし、現状では質の課題があると言わざるを得ないのではないかと危惧します。行政と民間とで解決の方法を検討できればよいと考えます。合理的配慮の好事例では、それぞれの機関で対応が丁寧になされていることが分かります。職員一個人の対応ではなく組織的に継続されていくことを願っています。

○「1-1」の事例について、仮に事実であり、時間をずらすこともしていないのであれば、問題であると感じる。好事例については、参考になった。

○内容を読んでも同居している家族やサービス管理責任者から嫌なことを言われたり嫌なことをされたりしているのに、その家族や周りの方が理解する努力をしないことから苦しんでいるのではないかと感じました。一番いい方法で改善していければと思いますが、まずは健常者の障害に対する意識改革が必要ではないかと思えます。

○障害差別の問題は、社会的スティグマ(人間的)の問題の上にあるのだろうと考えます。私の日常における精神分野の当事者、家族の法の俎上にのせきれないスティグマの現場。「病気、症状のパラダイム」がどのようにあるのか、パラダイムの変

化を社会文化の中にどのように落とし込んでいくか、その努力とシステムの変更がなされていくことが大切だと考えます。

当事者の「人生の出来事の一つのきさん」であり「恐怖」と考えるとそのまわりの「恐怖」でもあるのだらうと、その中でスティグマが表出されるのではないかと両方の恐怖の克服にむけてあらゆる方向から不断の努力を、形化（システム変更）していく方がいいと考えます。

○書面だけでは、概要しか理解できず、もっと詳しく説明が聞きたい。どのような対応をしたのかも知りたい。

（3）障害者差別解消法の見直しの動向について（報告）

○市独自条例を制定することによって、市民への法認知が広がることや内容に各種の取り決めや施策などを定めることにより、スローガンだけではない、実態を持った方針と成りうると考えます。

○障害者権利条約が国連にとりあげられるまでの苦労（交渉・説得）・意味を考えると障害差別に特化する条例を作ることは、社会全体のスティグマを意識する社会作りの為に必要。

○相談体制の整備、人材育成及び確保。明確化で終わらない。

（4）その他

○資料2等の「相談事例等」を職員に供覧し、障害を理由とする差別について、意識啓発を努めております。

○職員の意識啓発について更にGW等（LINEなどのSNSも）利用した取組が求められるのではないかと。本課、局内においても周知を試みるが更なる効果も期待したいところ。

○丁寧な聞き取り、とりまとめ、ありがとうございます。好事例の聴取もありがとうございました。

○障害は決して特別なことではなく、誰にでも起こりえる事。高齢になれば、病気から障害者に、交通事故から障害者に、なってしまう事。一人一人が温かく思いやりの心があれば、差別もなくなり、共生社会を実現することも可能です。簡単なようで本当に難しいことですが、障害者差別のないまちは、誰もが暮らしやすいまちだと思います。

○建物のバリアフリーが進んでも心のバリアフリーはなかなか進まないように感じます。障害に対する差別にはいろんな要因があると思いますが、健常者だけではなく障害者同士でも差別につながることもあるのではないのでしょうか。大切なのは障害の有無ではなく一人一人が病気の症状や接し方を知って相手の立場になって理解する努力することではないかと思えます。

○障害者本人への配慮はもとより、保護者への支援の手も受けやすいものであること。
障害者差別解消法の趣旨を理解し、社会全体に障害者を受け入れ、共に生きる風土
作りが必要であること。家族の気持ちに寄り添える相談であるべき。

以 上

相模原市障害者差別解消支援地域協議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	滝澤 衆	横浜地方法務局相模原支局 総務課長		出席
2	石川 敦	相模原公共職業安定所 所長		出席
3	安藤 実	神奈川県相模原警察署 警務課住民相談係 係長		欠席
4	豊永 弘継	神奈川県相模原北警察署 警務課住民相談係 係長		出席
5	鈴木 泰人	神奈川県相模原南警察署 警務課住民相談係 係長		欠席
6	坂川 智律子	神奈川県津久井警察署 警務課住民相談係 係長		出席
7	吉原 君子	相模原市身体障害者連合会 副会長		出席
8	永井 香苗	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		欠席
9	永井 祐喜	一般社団法人相模原市手をつなぐ育成会		欠席
10	大石 真弥	みどり会（相模原市精神障害者家族会） 副会長		出席
11	三好 一郎	精神障がい者仲間の会（あしたば会） 事務局長		出席
12	佐藤 聡一郎	一般社団法人相模原市医師会 理事		欠席
13	川上 孝生	相模原市立小中学校長会		出席
14	石渡 清司	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		欠席
15	久保田 修	相模原商工会議所 理事兼事務局長		出席
16	片野 憲治	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 事務局長		出席
17	小林 麻衣子	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団		出席
18	谷澤 藤男	相模原市障害福祉事業所協会 副会長		出席
19	佐田 昌史	相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事		出席
20	川合 きり恵	神奈川県弁護士会		出席
21	中野 陽子	和泉短期大学 准教授		出席

22	奈良 信	相模原人権擁護委員協議会		出席
23	大木 恵	相模原市自治会連合会 理事		出席
24	増田 美樹夫	相模原市地域包括ケア推進部 部長	会長	出席
25	榎本 好二	相模原市政策課 課長		出席
26	芦野 拓	相模原市総務法制課 課長		出席
27	渋谷 嘉一	相模原市コンプライアンス推進課 課長		出席
28	大田 康雄	相模原市職員課 課長		出席
29	高野 弘明	相模原市財政課 課長		欠席
30	内田 和也	相模原市危機管理課 課長		出席
31	馬場 浩司	相模原市区政推進課 課長		出席
32	関山 英雄	相模原市人権・男女共同参画課 課長		出席
33	仙波 康司	相模原市健康福祉総務室 室長		欠席
34	角田 仁	相模原市子ども・若者政策課 課長		出席
35	齋藤 みゆき	相模原市環境経済総務室 室長		出席
36	吉成 靖幸	相模原市産業・雇用政策課 課長		出席
37	松本 隆人	相模原市都市建設総務室 室長		出席
38	安藤 悟	相模原市緑区役所区政策課 課長		欠席
39	岩田 隆之	相模原市中央区役所区政策課 課長		出席
40	村上 秀明	相模原市南区役所区政策課 課長		出席
41	中村 敏幸	相模原市議会総務課 課長		出席
42	佐野 強史	相模原市教育総務室 室長		出席
43	篠原 真	相模原市学校教育課 課長		出席
44	藤田 知正	相模原市消防総務課 課長		出席
45	櫻井 敏朗	相模原市高齢・障害者福祉課 課長		出席